

昭和59年度 組織的調査研究活動推進事業 (要 約)

横山 勝幸・福田 慎作

1 調 査 目 的

脇野沢地区の漁業の活性化と安定化を図るために漁業上の問題点を抽出し、調査研究活動の方向及び指導方向を明らかにする。

2 調査内容の要約

詳しくは昭和58、59年度組織的調査研究活動推進事業報告書（脇野沢地区）を参照のこと

抽出された問題点

- (1) ホタテが生産額の第1位を占めているが、生産はまだ不安定で改善の余地がある。
- (2) 生産金額の第2位、第3位を占めているマダラ、イワシ類の生産は天然の資源変動に左右されるため不安定である。

漁業の振興方向

漁業の不安定性を解消するために次の振興方策が考えられた。

- (1) ホタテガイ増養殖の推進
- (2) 栽培漁業の推進（ヒラメ、クロソイ、サケ、マダラ等）
- (3) 資源管理並びに漁場管理の推進
- (4) 共同操業による経営の合理化

今後とり組むべき研究課題

- (1) マダラ増殖試験
- (2) ナマコ、エゾイシカゲガイ、モスソガイの増殖研究
- (3) ヒラメ、クロソイ等の栽培漁業化の推進